

埼玉県退職校長会 会報

題字・石田孝作
第179号
令和5年8月

令和5年度 定期総会

さいたま市・文化センター(小ホール)

令和5年6月2日(金)

会長挨拶(要旨)



埼玉県退職校長会

会長 石田 孝作

埼玉県退職校長会は現在、会員数3752名を擁し、10支部・57班の組織で地域の特色を生かしながら全支部が一丸となって活動しております。

また、本年度は、新入会員145名という多数の方々をお迎えすることがで

きました。本会のさらなる躍進の原動力として大いに期待をしているところであります。

現在、グローバル化や情報化が急速に進展し、AI(人工知能)も日々信じられないスピードで進化を続けており、生成AI「チャットGPT」などが注目されております。

教育界では2020年度から新学習指導要領が実施され、GIGAスクール構想を強力に推進する1人1台の端末の配備や学校のICT環境の整備が全自治体で完了となりました。また、喫緊の課題である「教

- 1~8 総会報告
- 9 「彩の国」教育の日
- 10 宣言・決議
慶祝叙勲
- 11 講演-要旨-
- 12~16 一人一言
- 17~19 新会員の声
- 20 文芸 編集後記



員のなり手不足」や「教員不足」の解消に向けた教職調整額の増額、時間外勤務手当の可否、長時間勤務の抑制策等、これらは教育に携わってきた経験者として早期の対策を切望しております。

これらの状況を踏まえ、本会が令和5年度に取り組み活動のうち、三つの要点について申し上げます。

その一 教育支援・教育要望活動の一層の充実・進展

「現職・退職校長支部別教育推進協議会」「退職教員講師派遣プロジェクト」「埼玉教育の振興等に関する要望書」「祝日『教育の日』制定」等の諸活動を推進してまいります。

その二 会員相互の福利・厚生活動の活性化の着実な推進

2年ごとの定年延長に伴い、校長職のキャリアを生かす活動の場の確保などの要望活動に一層努めてまいります。各支部、各班におかれましては鋭意、当該市町村教育委員会等に対し、継続的に要望活動を展開するようお願いいたします。

本年度の年金支給額については、4月から、新規裁定者は2.2%、既裁定者は1.9%の増額となっております。実態を的確に捉え、生

活の安定・安心に資する取り組みとして、将来展望の持てる制度の健全化のため、全国組織等と連携した運動を強力に推進してまいりますと存じます。

その三 情報の共有化による会員相互の「絆」の強化
会報年3回、ニュースレター年2回刊行の一層の充実とともに、開設8年目のホームページも随時更新に努め「支部・班だより」欄も充実してまいります。

デジタル社会へと急速に変貌する社会情勢の中、全会員が情報の共有を通して心の絆をより広げ、強め、連携と親睦を深めることをねらいとしております。本会発展の基盤としての役割を果たすようお願いいたします。

開催に当たり多大なご支援ご尽力を賜りました。また、市当局、並びにさいたま市退職校長会の会員各位に心からの御礼を申し上げます。皆様のご健勝でのご活躍を心より祈念し、挨拶といたします。